
新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略

検 証 結 果

平成29年度実績

重点項目／施策	基本目標／KPI	実績		H29 達成率	H29 検証結果	
		H28	H29			
定住人口の増加に向けた取組	社会増減 転出超過227人 → 転入超過1人以上 (岡山県毎月流動人口調査)	転出超過 185人 ・転入672人 ・転出857人	転出超過 187人 ・転入641人 ・転出828人	17.5%	基本目標の「社会増減」については、依然として転出超過の状態が続いている。 重要業績評価指数(KPI)について、「新見市への移住者数」は目標を大きく上回っている一方で、未婚率については、女性では若干の改善傾向が見られるが、男性については悪化傾向が続いている。 今後は結婚推進の取組を強化する必要がある。 ※H29年度の未婚率については市民アンケートの結果を基に算出。	
	定住者確保に向けた取組	新見市への移住者数 213人 (転入者アンケート調査)	368人	594人		278.9%
	独身男女の交流の場づくり	男性30～39歳の未婚率 40.5% → 30.0% (国勢調査)	43.0%	51.9%		-108.6%
女性25～34歳の未婚率 34.2% → 24.0% (国勢調査)		39.4%	33.7%	4.9%		
地域資源を活用した交流の活性化と産業振興	主な観光施設の入り込み客数 32万人 → 35万人 (市調査)	31万人	30.6万人	-46.7%	基本目標の「主な観光施設の入り込み客数」は、冬季の冷え込みにより積雪量が少なかったことによるスキー場利用客の減少等が大きな要因であると推測されるが、全体的に減少傾向が続いており、依然として厳しい状況である。 重要業績評価指数(KPI)について、「ツアー参加者の満足度」は昨年度と同レベルで推移している。「A級食材年間販売量」は千屋牛とピオーネについては増加している。キャビアについては昨年に続いて減少しているが、これは経営主体の変更による一時的なものであり、今後持ち直す見込みである。 今後は、ツアーのPRなどをより効果的に実施し、観光客の増加につなげる必要がある。	
	A級食材の総販売額 15億9,190万円 → 22億円 (販売実績)	19億 1,000万円	20億 2,000万円	70.4%		
	交流の活性化による観光振興	ツアー参加者の満足度 70% → 80% (参加者アンケート調査)	78.0%	78.0%		80.0%
	A級食材のブランド化	A級食材年間販売量 (販売実績) 千屋牛 786頭 → 50%増	8.8%減 (717頭)	14.9%増 (824頭)		9.7%
		A級食材年間販売量 (販売実績) ピオーネ 1,076t → 10%増	0.4%減 (1,072t)	15.3%増 (1,236t)		148.1%
地域資源の活用による産業振興	A級食材年間販売量 (販売実績) キャビア 79kg → 30%増	69.6%減 (24kg)	73.4%減 (21kg)	-241.7%		
新規特産品数 3品目 (市事業実績)	0品目	1品目	33.3%			
雇用機会の創出	新規雇用者数 509人 → 20%増 (ハローワーク資料)	6.7%増 (543人)	0.6%増 (512人)	2.9%	基本目標の「新規雇用者数」は、昨年度に比べ減少している。これは、全国的に就職事情は売り手市場となっていることが影響しているものと思われる。 重要業績評価指数(KPI)について、「新規創業者」は順調に推移しており、「新規進出企業数」も2件の新規進出が決まった。「年間新卒地元就職者数」は昨年度にくらべ減少しており、総合戦略策定時の数値を下回っている。「地元産材出荷量」については昨年度より増加している。 今後は、高校生を中心とした地元企業巡りなど、地元の若者に市内に就職してもらえるような取組を強化する必要がある。	
	企業誘致の推進	新規進出企業数 3件 (市事業実績)	0件	2件		66.7%
	創業支援	新規創業者 10件 (市事業実績)	8件	6件		140.0%
	中小企業・小規模事業者への支援	年間新卒地元就職者数 83人 → 95人 (商工会議所主催 新卒地元就職者 激励会対象者数)	69人	59人		-200.0%
	森林資源の有効活用	地元産材出荷量 85,748m ³ → 142,600m ³ (市内事業所等出荷量)	94,878m ³	118,213m ³		57.1%

重点項目／施策	基本目標／KPI	実績		H29 達成率	H29 検証結果
		H28	H29		
担い手不足の解消	第1次産業従事者のうち、15～59歳の占める割合 24% → 35% (国勢調査)	23.0%	—	-9.1%	重要業績評価指数(KPI)について、「年間新規就農者の人数」は年間の目標を大きく上回っているが、「任期満了となった地域おこし協力隊の定住率」はこれまでに定住に結びついていない隊員がいるため、達成は不可能となっている。「新見に住み続けたい子どもの割合」は、昨年度に比べると増加しているが、総合戦略策定時の数値に届いていない。 今後も引き続き、市外からの新規就農者の確保に努めるとともに、小学校の早い時期から、新見市の優れた第1次産業の魅力を伝える取組などを実施していく必要がある。
農林業の活性化	年間新規就農者の人数 年間4人 (市事業実績)	8人	8人	200.0%	
新たな担い手の育成	任期満了となった地域おこし協力隊の定住率 100% (市事業実績)	66.7% ・定住2人 ・任期満了3人	85.7% ・定住6人 ・任期満了7人	85.7%	
次世代を担う人材の育成	新見に住み続けたい子どもの割合 54% → 65% (市アンケート調査)	43.0%	52.0%	-18.2%	
大学との連携による新産業創出等の取組	新産業創出数 1件 (市事業実績)	0件	0件	0.0%	
女性が輝くまちの実現	合計特殊出生率 1.59 → 1.70 (岡山県公表値)	1.54 (概数値)	1.73 (概数値)	127.3%	基本目標の「合計特殊出生率」については、概数値ではあるものの、増加し目標値を達成しているが、出生数が減少していることから今後低下することが予測される。 重要業績評価指数(KPI)について、「出生数」は昨年度から大幅に減少し、「子育てに負担を感じている人の割合」は悪化している。「女性の生産年齢人口における年間新規常用労働者の人数」は昨年度に比べ増加している。 現在実施している事業は、即効性のあるものばかりではなく、効果が出るまでに時間を要すると考えているが、今後も、安心して出産し子育てできる環境の整備に向けた取組を強化していく必要がある。
妊娠・出産支援施策の充実	出生数 166人 → 211人 (岡山県毎月流動人口調査)	174人	128人	-84.4%	
子育て支援施策の充実	子育てに負担を感じている人の割合 51% → 30% (市アンケート調査)	48.3%	53.4%	-11.4%	
女性の社会進出支援	女性の生産年齢人口における年間新規常用労働者の人数 173人 → 20%増 (ハローワーク資料)	165人	180人	20.0%	